

エコな暮らしを提案していきます

伝統工法で地域材を活用／太陽光発電やペレットボイラーも導入



一般住宅と比べてCO₂排出量の半減を目指すエコモデル住宅

市では、環境省が提唱する「21世紀環境共生型モデル住宅（エコモデル住宅）」の整備を「飛驒の里」駐車場に進めています。

この取組みは、家庭から排出される二酸化炭素（CO₂）を中長期的に削減するため、環境負荷が少ないエコ住宅を提案し、そのメリットを直接体験してもらうことで普及を図っていくことを目的としています。

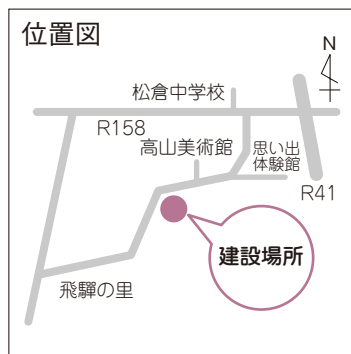
今回提案する住宅は、高山市の気候風土や伝統的な建築様式に配慮しているほ

か、面積が市の90%を超える高山市の豊かな森林資源

を活かすため建築資材や暖房用エネルギー源として木材を最大限に活用していることが特徴。壁や天井などの高断熱化や屋根の融雪、冷房への地熱利用、ペレットストーブやボイラー、太陽光発電、LED照明、雨水をトイレの排水に再利用するなど数多くのエコ機能を提案しています。

建設規模は、木造2階建て床面積242平方メートルで建設事業費は約8千万円。今

春3月に竣工する予定です。



問合せ先

環境課	35-3467
林務課	35-3143
都市整備課	35-3146



ふるさとの山を語ろう 森林づくり フォーラム

美しい森林づくり in 飛驒

高性能林業機械を使つての木材の切り出し作業

森林は、災害の防止・水源かん養など私たちの身近な暮らしを守るだけでなく、多くの生物にとってなくてはならない存在であり、地球温暖化防止の面からも大きな役割を果たしています。しかし森林の整備は十分には進んでいません。

こうした中、飛驒では「林業の再生・元気な林業」を目指もうかる林業への挑戦が始まっています。あなたも一緒にふるさとの山について考えてみませんか。

期日 2月14日(日)
時間 午後1時30分～4時15分
場所 飛驒総合庁舎(上岡本町7)

- 内容
- 基調講演
「環境にも所有者にもやさしい森林づくり」
講師／鋸谷 茂さん(フォレスト・アメニティ研究所副所長)
 - 森林整備の事業説明

問合せ先 林務課
35-3143

ご相談ください 就学援助費

就学援助制度は、市内の小中学校に通うお子さんをお持ちの方で、経済的な理由で給食費や学用品費などの支払いにお困りの保護者に対して、市が援助する制度です。

対象者 ①国民年金保険料の免除などを受けている方 ②国民健康保険料の軽減などを受けている方 ③市民税非課税、または減免を受けている方 ④児童扶養手当を受給している方 ⑤その他経済的に困っている方など

※該当されている場合でも審査の結果、認定されないことがあります。

補助の種類 学用品費、新入学用品費、宿泊を伴う校外活動費、修学旅行費、学校給食費など

申請方法 2月12日(金)までに各小中学校にある申請書に記入し、学校へ提出。なお、年度途中でも受け付けています。

問合せ先 学校教育課
35-3154